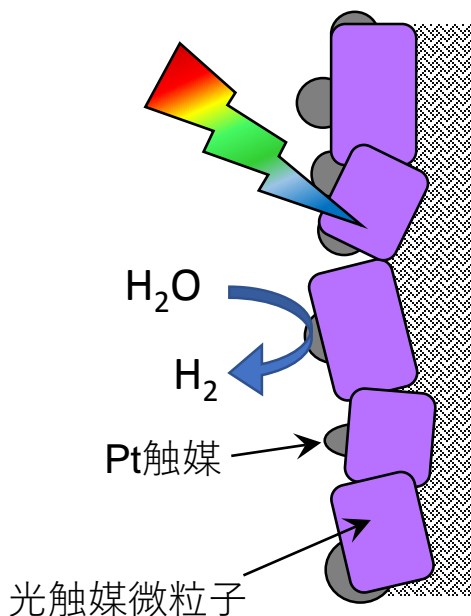
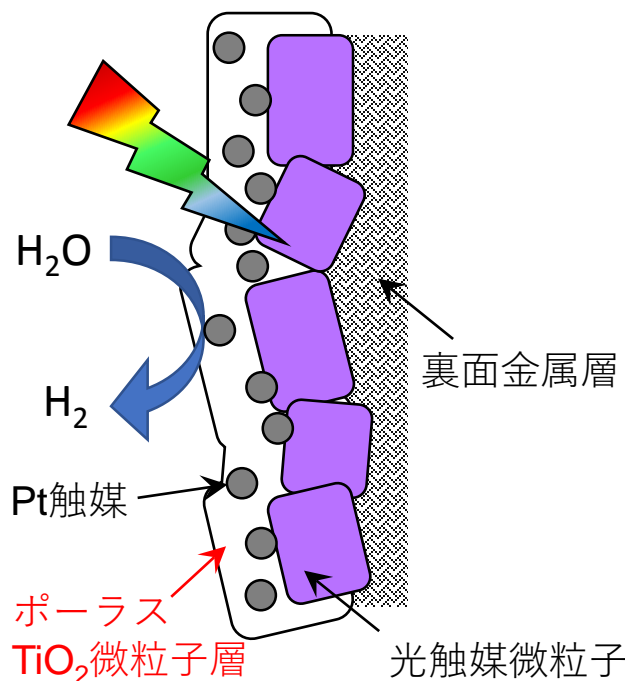


既往の表面修飾手法
(光電着法)

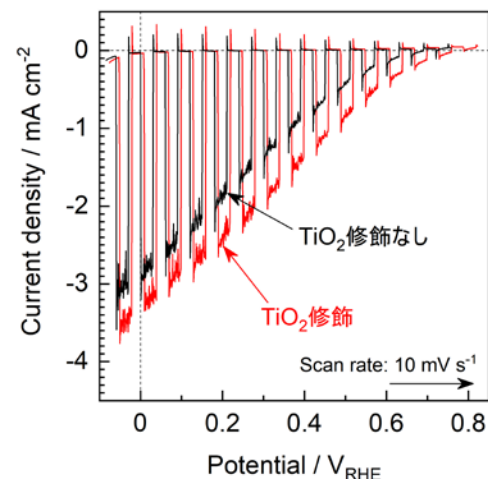


本研究で目指す構造



- TiO₂微粒子にPt助触媒を担持
→ Pt数を増大・活性点当たりの電流密度低減
- 可視域で透明、光吸収層の光励起を阻害しない
- ホールブロッキング効果
- 表面の濡れ性改善

(ZnSe)_{0.85}(CuIn_{0.7}Ga_{0.3}Se₂)_{0.15}
光カソードの電流-電位曲線



電流-時間曲線

